

## 平成28年度 星翔高等学校 学校評価報告 (2)

### 3 本年度の取組および自己評価

1 中期的 目標	今年度の重点目標	具体的取組計画	評価指標	自己評価	
1 基礎学 力の育 成	(1)授業力の向上に向けた取り組み				
	ア 授業力の育成	初任者、経験年数の少ない教員を中心とした授業公開・研究協議における情報交換・交流を通じて、教員全体の授業力向上を図る。	年1回/人	一部しかできていない。経験年数の少ない教員から順次公開授業に取り組みせたい。(△)	
	イ 外部研修等による自己研鑽	外部研修受講並びに自己研鑽を図り、授業力向上につなげる。	年1回/人	全員への研修奨励ができていなかった。(△)	
	(2)基礎学力の向上に向けた取り組み				
	ア 基礎・基本的な学力の定着	基礎学力に課題のある生徒に対して個別指導の促進補習を実施する。	欠点個数3科目以下に減少させる	予定通り実施・成績の向上が見られた。欠点個数も3科目以下達成。(○)	
	イ 学習環境の改善	学習に取り組む姿勢の醸成とICT化に向けた取り組みの推進。	ICT導入	ICT導入はかなりハードルが高く、中期的に取り組みたい。(△)	
	ウ 読書習慣の形成	生徒の図書館利用を促進し、読書の能力、態度を育成する。	利用率 20%以上	現在15%前後の利用率である。生徒が利用したくなるような魅力ある図書館の仕掛け作りを検討していきたい。(○)	
	エ 自習室の開設・充実	自習室を開設し、利用生徒の利便性を高める。	稼働率 40%以上	年間稼働率30%である。大学生のチューターを導入するなど、足を運びたくなる環境を作っていく。(△)	
	2 基本 的 生 活 習 慣 の 確 立	(1)規範意識を身につけさせる取り組み			
		ア 欠席・遅刻者数削減の取り組み	欠席・遅刻者数を削減するため学期に1回程度の無遅刻週間を設け、指導を徹底する。	無遅刻週間中の欠席・遅刻生徒数の割合5%以下	無遅刻週間中は3%であり、効果は見られたが、指導方法の改善等も検討したい。(○)
イ 頭髪、服装指導の徹底		日常はもとより、定期考査毎の検査・指導により、規範意識を身につけさせ、一層規律ある学校生活を送らせる。	違反ゼロ	違反は少なくなっているが、まだ皆無には至っていない。(○)	
ウ 通学路指導		徒歩ルートでの指導を行い、マナーの更なる改善を図る。	適宜見廻り指導の実施	見廻りだけの実施にとどまっているが、近隣からの苦情も少なくなり、一定の改善が見られた。(○)	
(2)安全意識を高める取り組み					
ア 交通安全教育		自転車通学者への安全講習を通じて、危険運転等も含めた交通安全教育を行い、事故ゼロをめざす。	年複数回実施 事故ゼロ	3回実施したが、事故が数件あった。事故ゼロをめざしたい。(△)	
(1)行事、生徒会活動、部活動の活性化に向けた取り組み					
ア 学校行事の活性化	体育大会、星翔祭への個々の参加意識を高め、生徒の自己有用感、帰属意識の醸成を図る。	全員参加	一部の欠席があり、全員参加ができなかったが、生徒アンケートの結果では、満足度は概ね高く、一定の成果は上がった。(○)		

3 自立・自己実現の支援

イ 生徒会活動の充実	生徒会が自主的に企画し、運営できるように、生徒会執行部の活動を支援する。	自主活動が進んだか	生徒会執行部は自主的に企画に取り組み、季節毎の取り組みを作り上げている。(○)
ウ 部活動の充実	運動部、文化部共に充実した活動ができるように支援し、生徒たちが満足の行く結果を残せるよう活動する。	結果より充実感を重視	アンケート結果において、クラブ活動は充実しており、更なる向上を期待する結果であった。(○)
(2)資格取得を通じた生徒の達成感・成就感の醸成			
ア 資格取得支援	授業はもとより、早朝、放課後の時間帯を活用し、生徒の資格取得を支援する。	学年で1個以上の資格にチャレンジ	科によって差はあるが、第1種電気工事士に5名の合格者を出すなど、科ごとに特色ある資格に挑戦し、合格者が出て、成果が上がっている。(○)
(3)キャリア教育の推進			
ア インターンシップの取り組み	2学年の希望者に対して、インターンシップを実施し、就業意識をつけさせる。	参加率20%	希望者には100%の実施ができた。参加者は希望制でもあり全体としての参加率は達成できた。(○)
イ キャリア教育の推進	全教科目、特に工業科においては、実習授業を通じて、社会において自立していく能力・態度を育成するため、キャリア教育を行う。	就業意識を高め、離職者を出さないようにする。	離職率をゼロにすることはできていないが、卒業生、就職先企業からの報告では一桁台にとどまっている。(○)
(4)進路指導の充実			
ア 進路ガイダンス	2学年、3学年と継続性を持たせて進路についてを考えさせるガイダンスを実施する。	参加率100%	参加率は98%(○)
イ 進路選択支援	日常の指導はもとより、進学講座、就職講座を実施し、進路実現に取り組む姿勢を醸成することにより、全員の自己実現をめざす。	進路決定率100%	進学92%、就職95%でそれぞれの目標値はほぼ達成できた。(○)
ウ 就職指導	地域企業の人事担当者の支援を受けるなど、就職試験のための個々に応じた面接指導の取り組みを充実させ、就職一次合格率の向上を図る。	就職一次合格率70%	一次合格率は65%であり、生徒の意欲的な部分が充分表出されるような指導を検討したい。(△)
(1)教育相談体制の充実			
ア 相談室の開設	スクールカウンセラー、支援教育コーディネーター等の活用を通じて、個に応じた支援を充実させるため、相談室を開設する。	相談室の開設	相談室の人員配置が進まず開設できていない。(△)
4 人権教育の充実			
(2)挨拶から始まるコミュニケーション力をつける取り組み			
ア 挨拶運動の推進	互いを思いやり、理解し合える関係作りのきっかけを作る挨拶運動に取り組む。	挨拶実行率90%以上	校内のみならず、来校者に対してもほぼ100%の挨拶ができて、好印象を持って評価いただいている。(○)
(3)いじめのない安全安心な学校をめざす取り組み			
ア 教職員研修の充実	日常から人権課題に気づく感性を持つことができるように、教職員に対する研修内容を工夫・充実させ、人権尊重の理念を体得させる。	年1回研修	研修を通じて啓発を行うことができた。(○)